



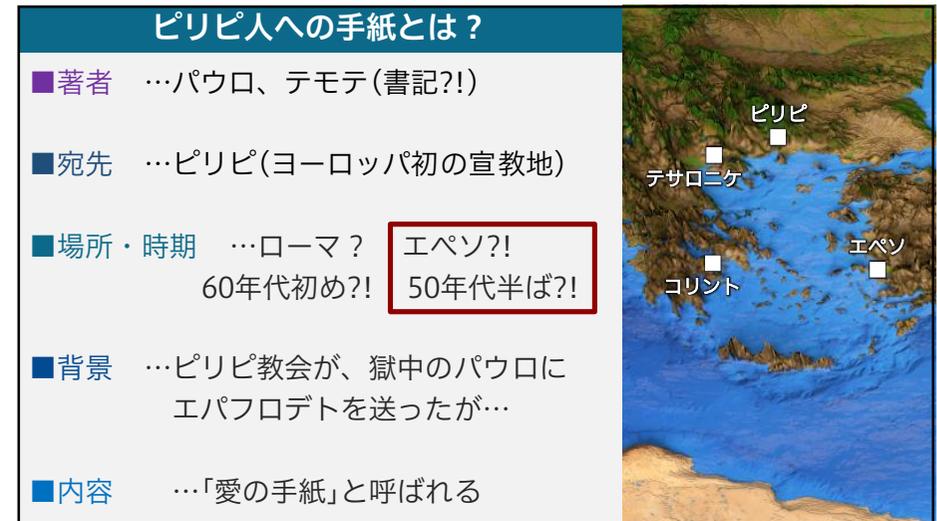
3



4



5



6

## 前回のまとめ キリストの福音にふさわしい生活

キリストの福音にふさわしい生活とは、

- ① 兄弟姉妹が共に歩みつつ、**励ましあい**、
- ② キリストの愛をもって、共に**慰めあい**、
- ③ 聖霊、聖餐、奉仕、福音宣教による**交わり**が、  
地域教会を通してあり、
- ④ キリストの**愛**と神の**憐れみ**があること

**信仰の日々を礎に、用いられ、遣わされていく!!**

7



1. 従順のもたらす実 ピリピ人への手紙2章13～18節

エペソの円形劇場

8

## 勧告 従順の根拠 ピリピ2:13～14

神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。すべてのことを、不平を言わずに、疑わずに行いなさい。

■ 信仰者が主に従い、奉仕することができるのは、主が、私たちの内で導き、後押しされるから。



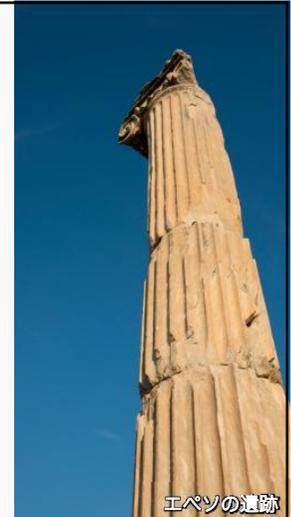
エペソの図書館跡

9

## 勧告 従順の実 ピリピ2:15～16a

それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代\*のただ中であって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかりと握り、彼らの間で世の光として輝く\*ためです。

\*主に従い、御霊に満たされることで可能に。  
\*主の言葉、約束がねじ曲げられる邪悪な時代



エペソの遺跡

10

**勧告 従順の実** ピリピ2:16b

そうすれば、私は自分の努力したことが無駄ではなく、労苦したことも無駄でなかったことを、**キリストの日\***に誇ることができます。

\*キリストによる裁きの日

→“キリストの御座の裁き”

信者にとっては、報酬が定められる時



エペソの遺跡

11

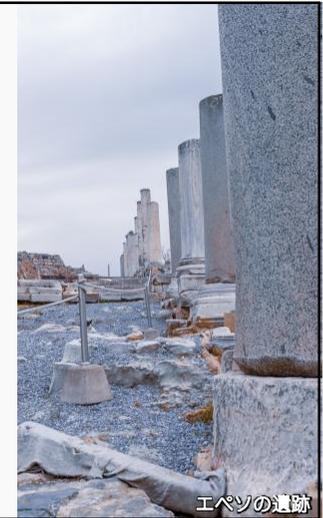
**勧告 注ぎのささげ物** ピリピ2:17~18

たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝といういけにえに添えられる、**注ぎのささげ物\***となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

同じように、あなたがたも喜んでください。私とともに喜んでください。

\*全焼のささげ物と共に祭壇に献げる血

→“たとえ殉教することになっても”



エペソの遺跡

12

**II. テモテの派遣** ピリピ人への手紙2章19~24節

エペソの遺跡

13

**テモテとは？**

- アジア州のリストラ出身。
- 父はギリシャ人。母はユダヤ人。  
祖母ロイスと母ユニケより信仰を受け継ぐ。  
幼い頃から聖書教育を受けた。
- 第二次伝道旅行のパウロと出会い、同行する。
- パウロの信頼厚く、残留したり、派遣されたり。  
6つの手紙をパウロと共同執筆(コリントⅡ、  
ピリピ、コロサイ、テサロニケⅠ・Ⅱ、ピレモン)



14

**派遣 テモテ** ピリピ2:19~20

私は早く**テモテ**をあなたがたのところに送りたいと、**主イエス**にあって望んでいます\*。あなたがたのことを知って、励ましを受けるためです。

**テモテ**のように**私と同じ心になって\***、**真実**にあなたがたのことを心配している者は、だれもいません。

\*何より大切なこと

\*こんなことが言える人がいる？

■牧会でも一致していた、パウロとテモテ。



エペソの遺跡

15

**派遣 福音のための奉仕** ピリピ2:21~22

みな自分自身のことを求めている、**イエス・キリスト**のことを求めてはいません\*。

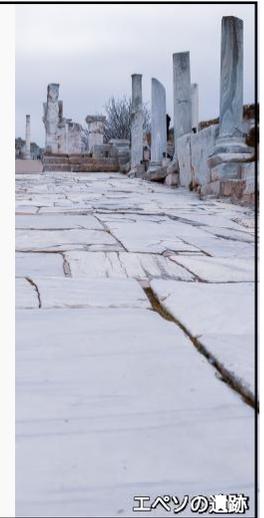
しかし、**テモテ**が適任であることは、あなたがたが知っています。子が父に仕えるように\*、**テモテ**は私とともに福音のために奉仕してきました。

\*教会内、クリスチャンの間でも、これが現実

→真実に主を求める者は少ない

\*パウロに仕え、何より主に仕えてきた

■主を求めるとは、主に仕えること



エペソの遺跡

16

**派遣 主にある願いと確信** ピリ2:23~24

ですから、**私のこと**がどうなるのか分かり次第\*、すぐに彼を送りたいと望んでいます。

また、私自身も近いうちに行けると、**主に**あって確信しています\*。

\*パウロも何らかの危機にあった?!

\*苦難の中でも主の平安に満たされていた



エペソの遺跡

17



III. **エパフロデイトの帰還** ピリピ人への手紙2章25~30節

ピリピ 円形劇場

18

**派遣 エパフロディト** ピリピ2:25

私は、私の兄弟、同労者、戦友\*であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれた**エパフロディト**を、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

\*他はピレモン1:2のみ 「戦友アルキポ」

■最初は、会堂もなかったピリピ。

小さな教会から大事な働き手を遣わした。



ピリピの遺跡

19

**派遣 二人の苦難** ピリピ2:26~27

彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしている\*からです。

本当に、彼は死ぬほどの病気\*にかかりました。しかし、神は彼をあわれんでくださいました。彼だけでなく私もあわれんでくださり、**悲しみに悲しみが重ならないように\***してくださいました。

\*自分よりも兄弟姉妹を案ずるエパフロディト

➔死ぬほどの病\*に侵されながら

\*同時期にパウロも命の危機にさらされていた



ピリピの遺跡

20

**派遣 喜びをもって** ピリピ2:28~29

そこで、私は**大急ぎで\***彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。ですから**大きな喜びをもって\***、主にあって彼を迎えてください。また、彼のような人たちを尊敬しなさい。

\*むろん何日もかかる旅だけれど

\*心配以上に抱いているべき、主にある喜び

■パウロもエパフロディトも、ピリピの教会の人々も、互いに互いを思いやる兄弟姉妹の姿



ピリピの遺跡

21

**勧告 慰めと励まし** ピリピ2:30

彼はキリストの働きのために、死ぬばかりに\*なりました。あなたがたが私に仕えることができなかつた分を果たすため\*、いのちの危険を冒した\*のです。

\*ピリピの人々のそもそもの動機

\*死ぬほど病と三度も強調(27,30節)

■病気や事故は、たやすく信仰の躓きになる。

➔エパフロディトと教会が失意に陥らないよう、配慮を重ねるパウロ自身にも同様の経験が。



ピリピの遺跡

22



#### IV. まとめと適用 不平も言わず 疑わず

23

### 罪とは、不従順

#### ■ 神への不従順が、罪

「かつては、それらの罪の中であってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、**不従順の子ら**の中に今も働いている霊に従って歩んでいました。エペ 2:2」

#### ■ 人は誰もが不従順な罪人だった

「私たちも以前は、愚かで、**不従順**で、迷っていた者であり、いろいろな欲望と快樂の奴隷になり、悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者でした。テトス 3:3」

24

### 不従順は、滅びにいたる罪

#### ■ 不従順な罪人に、神の怒りが下る

「このことをよく知っておきなさい。淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国を受け継ぐことができません。

だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒りは**不従順の子ら**に下るのです。エペ5:5～6」

25

### 義認

### 不従順か 従順か

#### ■ 死にいたる**罪の奴隷**か。義にいたる**従順の奴隷**か。

「あなたがたは知らないのですか。あなたがたが自分自身を奴隷として献げて服従すれば、その服従する相手の奴隷となるのです。つまり、**罪の奴隷**となって死に至り、あるいは**従順の奴隷**となって義に至ります。ロマ 6:16」

→主に不従順な者は、滅びにいたる**罪の奴隷**

→主に従順な者は、義にいたる**従順の奴隷**

信じるとは、主への従順を選択すること

26

## 聖化

## 主への従順が、信仰者の道

## ■ 求められる、福音宣教の使命への従順

「この(奉仕の)務めが証拠となって、彼らは、あなたがたが**キリストの福音の告白に対して従順**であり、自分たちや、すべての人に惜しみなく与えていることを理解して、神をあがめるでしょう。

Ⅱ コリ 9:13」

■ 福音を信じた者に求められる、**福音の告白への従順**  
(福音宣教)

27

## 栄化

## 私たちの従順が完全になる時

## ■ 従順の完成、不従順への裁きの時

「私たちは様々な議論と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち倒し、また、すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。

また、あなたがたの**従順が完全になったとき、あらゆる不従順を罰する\***用意ができています。Ⅱ コリ 10:5～8」

\*「私たちは御使いをも裁く者(Ⅰ コリ 6:3)」

■ 世にある限り、教理的にも、靈的にも、信仰の戦いは続く  
**従順の完成、不従順への罰 →キリストの再臨の時**

28

## 従順のもたらす実

「それは、あなたがたが、**①非難されるところのない純真な者**となり、また、曲がった邪悪な世代のただ中であって**②傷のない神の子ども**となり、**③いのちのことばをしっかりと握り**、彼らの間で

**④世の光として輝く**ためです。ピリ 2:15～16」

**①主に対する純真さ**

**②キリストの律法の遵守**

**③御言葉への固い信頼**

**④世の光として用いられること**

従順の結果、主がもたらしてくださること

29

## 私たちが従順であるべき最大の根拠

## ■ ヘブル人への手紙 5:8～10

「キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみによって**従順**を学び、完全な者とされ、ご自分に従うすべての人にとって永遠の救いの源となり、メルキゼデクの例に倣い、神によって大祭司と呼ばれました。」

**主イエスご自身が、私たちが救うため、へりくだって従順を学ばれた**

30

★ 不平も言わず 疑わず ★

■私の罪のため死んで復活された、キリストへの従順が、救い。  
主に従順に歩み、聖霊に満たされて行くのが、聖化の成長過程。  
従順が完成するのが、御国で栄光の体を与えられる、栄化の時。

■日々、御言葉を味わい、学びを深め、従順を強めているか。  
主に、教会の権威に、兄弟姉妹に、従順に仕えているか。  
従順の完成の時を仰ぎ見、日々、従順に歩んでいるか。

不平も言わず、疑わず、喜びと感謝を持って従順に歩もう!!

てん どう つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください  
わたし かみ こ しゅ  
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、  
わたし つみ あがな し じゅうじか し  
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、  
はか ほうむ  
②墓に葬られ、  
みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活されたこと、を信じます。  
わたし じゅうじゅん わたし つみゆる すく  
主イエスの従順のゆえに、私たちは罪赦され、救われました。  
わたし じゅうじゅん ひび あゆ よ ひかり  
私たちも従順に日々を歩みます。世の光としてください。  
じゅうじゅん かんせい とし えいこう しゅ こ とし ま のぞ  
従順の完成の時、栄光の主イエスが来られる時を待ち望みます。  
ふくいんせんきょう しめい しゅ じゅうじゅん つか  
福音宣教の使命へと、主への従順をもって遣わしてください。  
しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」